

**花** 6月～7月

**ユキノシタ科**

### ツルアジサイ

#### つるを伸ばして生長し白い装飾花をつける

北海道～九州に自生する落葉性のつる性木本。山地に多く見られ、茎から気根を伸ばし、樹木や岩場を登る。

葉は卵形で明るい緑色をしており、縁には大きめの揃った鋸歯がある。花序の中央に両性花をつけ、周辺にはアジサイに似た装飾花をつける。



**花** 6月～8月

**ダデ科**

### ギシギシ

#### 夏に小さな緑の花が多数つく

道ばたや湿地に生える多年草で。草丈は40cm～1m。茎の下につく先が丸い葉には葉柄があるが、上につく幅の狭い葉には葉柄がない。

初夏から夏にかけて小さな緑色の花が輪生し、円錐状の花序を形成。花後に生長する内花被は果実全体を包む。内花被は三角状で、先がとがり、縁に不揃いな鋸歯がある。



**花** 7月～8月

**アカバナ科**

### コマツヨイグサ

#### 地面を這って生長するマツヨイグサ類の一種

原産地は北アメリカで、大正後期から昭和初期の間に日本に入ってきたといわれている帰化植物。草丈は20～60cmほどで茎は地面を這うように伸び、よく枝分かれます。葉はやや波うった鋸葉のあるものから羽状に深く裂けたものまで、変化に富む。

マツヨイグサ類のほかの種と同じく、夜に黄花を咲かせるが、オオマツヨイグサやメマツヨイグサと違い、翌朝しぼむと花は赤褐色になる。

